

# らぼーる図書室だより

## ★おすすめの本(4月1日現在)

刊年	内容	タイトル・著者名	出版社	分類
2014	★	土漠の花／月村 了衛	幻冬舎	913.6
2014	★	サーカスナイト／よしもと ばなな	幻冬舎	913.6
2014	★	我が心の底の光／貫井 徳郎	双葉社	913.6
2015	★	冷蔵庫を抱きしめて／荻原 浩	新潮社	913.6
2015	★	壊れた自転車でぼくはゆく／市川 拓司	朝日新聞出版	913.6
2014	★	ビブリア古書堂の事件手帖 6／三上 延	KADOKAWA	913.6
2015		悲嘆の門 上・下／宮部 みゆき	毎日新聞社	913.6
2015		絶唱／湊 かなえ	新潮社	913.6
2014		風に立つライオン／さだ まさし	幻冬舎	913.6
2015		オネスティ／石田 衣良	集英社	913.6
2014		デビクロくんの恋と魔法／中村 航	小学館	913.6
2014		死命／薬丸 岳	文藝春秋	913.6
2014		ゆるい生活／群 ようこ	朝日新聞出版	914.6
2014		餃子の王将社長殺人事件／一橋 文哉	角川書店	368.6

\* が付いている話題の本の内容については、下記に記載しています。

### 913 土漠の花／月村 了衛

自衛隊は何を守るために戦うのか？自衛官は人を殺せるのか？－全ての国会議員と自衛官とその家族、そして平和ボケで想像力の萎んだ私達日本人全員が読むべき作品です。－ 草野満代アウンサーの書評。本屋大賞ノミネート作品。

### 913 サーカスナイト／よしもと ばなな

事件の後、さやかは娘のみちると幸せに暮らしていた。昔の恋人と再会し、忘れ得ぬ人々へのつのる想いを重ねながら、愛と祈りの絆は、やがて鐘の音のように地上に広がり渡る。さやかの親指は動かない。手錠から抜くときに、骨が砕けたのだ。

### 913 我が心の底の光／貫井 徳郎

父は殺人を犯し、母は死んだ。五歳で伯父夫婦に引き取られ、中華料理店を手伝いながら、空腹とともに生きた。八〇年代のこの国に生を享けながら、豊かさとは無縁に、飢えて育った峰岸暁。感情を殺して生きる暁の、心の底に差す光は何なのか？

### 913 冷蔵庫を抱きしめて／荻原 浩

あ、ダメ、ダメだってわかっているのに、どうして同じことを。あなたの心、解放します。現代人のライトだけど軽くはない心の病気にシニカルに真剣に迫る短編集。

### 913 壊れた自転車でぼくはゆく／市川 拓司

なぜ、ふたりは引き離されなければいけなかったんだろう？限られた時の中で精一杯自分たちの命を生きた恋人たちの旅の記録。

### 913 ビブリア古書堂の事件手帖 6／三上 延

太宰治の「晩年」を奪うため、美しき女店主に危害を加えた青年。ビブリア古書堂の二人の前に、彼が再び現れる。今度は依頼者として。違う「晩年」を捜しているという奇妙な依頼。本を追ううちに、二人は驚くべき事実に向き合う。